



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月11日

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所 大・名  
 コード番号 7975 URL <http://www.lihit-lab.com>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中宏和  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)大内高明 (TEL)06(6946)2525  
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	6,643	0.3	255	33.8	213	27.7	110	18.7
24年2月期第3四半期	6,622	0.8	386	27.2	294	11.9	135	7.3

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 116百万円(29.6%) 24年2月期第3四半期 89百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	6.23	
24年2月期第3四半期	7.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	12,973	8,066	62.2
24年2月期	13,097	8,038	61.4

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 8,066百万円 24年2月期 8,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期		0.00		5.00	5.00
25年2月期		0.00			
25年2月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,870	0.7	350	27.0	280	25.4	120	32.8	6.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	19,078,500株	24年2月期	19,078,500株
期末自己株式数	25年2月期3Q	1,329,141株	24年2月期	1,328,426株
期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	17,749,965株	24年2月期3Q	17,750,816株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年3月1日～平成24年11月30日)における我が国経済は、復興需要等を背景に一部緩やかながら回復基調の動きが見られましたが、円高や海外経済の減速に加え、中国との外交問題の深刻化により輸出が大幅に減少したこと等により、企業の景況感が悪化し先行き不透明感が強まる状況で推移いたしました。

当業界におきましては、法人需要は依然低調に推移し、製品の低価格志向に歯止めがかからない状況下で販売競争が激化している環境は変わらず、厳しい状況が継続しております。一方個人需要は厳しい雇用、所得情勢を受け、盛り上がり欠ける状況にはありますが、高機能製品や特長ある個性的な製品が伸張してきております。

このような状況のもと、当社グループは事務用品事業では積極的に新製品の投入を行い、販路の拡充、開拓を積極的に進め、売上の拡大に努めました。新製品では、ダイアリー市場に、リーフを差し替えできる当社独自のツイストリング綴じ具の機能を活かして、表紙が自由にカスタマイズできるコロモガエ・ダイアリー2013を投入いたしました。アクアドロップスシリーズでは、ポイントカードホルダーのアイテムを拡充し市場の拡大に努めたことにより、シリーズ全体の売上が伸張いたしました。ツイストリング・ノートは、顧客の製品に対する認知が進み、売上が順調に伸ばし、新たに表紙レザー調タイプや厚型タイプを投入いたしました。また、机上用品シリーズ、OTOMO(オトモ)シリーズ及びバッグ・イン・バッグ等の収納整理用品は順調に売上が拡大いたしました。しかしながら、法人需要の低迷で別製品受注が低調に推移したことや、既存製品が横ばいもしくは低調に推移したことにより、事務用品等事業の売上高は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。

また不動産賃貸事業では、本社ビルの入居率の改善等により、前年同期より売上が伸ばしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、66億4千3百万円(前年同期比0.3%増)となりました。利益面につきましては、経費の削減を進めましたが、売上高が前年同期比で横ばいとなったことに加え、原価率の上昇等により営業利益は2億5千5百万円(前年同期比33.8%減)経常利益は2億1千3百万円(前年同期比27.7%減)四半期純利益は1億1千万円(前年同期比18.7%減)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比増減(%)
フ ァ イ ル	2,421	36.5	0.8
バインダー・クリヤーブック	1,450	21.8	3.9
収 納 整 理 用 品	1,542	23.2	2.3
そ の 他 事 務 用 品	966	14.6	5.6
事 務 用 品 等 事 業	6,381	96.1	0.2
不 動 産 賃 貸 事 業	262	3.9	3.7
合 計	6,643	100.0	0.3

【事務用品等事業】

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

<ファイル部門>

ルーパーファイル、アクアドロップス・リングファイル、リクエスト・D型リングファイル等が堅調に売上が増加いたしました。低価格製品との競合等で既存製品や法人向け製品が総じて苦戦し、売上が減少いたしました。その結果、ファイル部門の売上高は24億2千1百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

<バインダー・クリヤーブック部門>

リクエスト・クリヤーブックやツイストリング・ノート等が堅調に推移したことに加え、コロモガエ・ダイアリー2013等の新製品投入効果により、結果、バインダー・クリヤーブック部門の売上高は14億5千万円(前年同期比3.9%増)となりました。

<収納整理用品部門>

引き続き机上用品シリーズが好調に推移し、バッグ・イン・バッグ及びOTOMO(オトモ)シリーズも売上に大きく寄与し、結果、収納整理用品部門の売上高は15億4千2百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

<その他事務用品部門>

メディカル用品のカルテフォルダーの低価格化の流れが継続したことや、既存の事務機器類が伸び悩みで推移した結果、その他事務用品部門の売上高は9億6千6百万円(前年同期比5.6%減)となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は63億8千1百万円(前年同期比0.2%増)となり、営業利益は2億1千7百万円となりました。

【不動産賃貸事業】

不動産賃貸事業は、入居率の改善等による賃料収入の増加等の結果、不動産賃貸事業の売上高は2億6千2百万円（前年同期比3.7%増）となり、営業利益は3千8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ1億2千3百万円減少し、129億7千3百万円となりました。これは現金及び預金等流動資産は増加しましたが、有形固定資産等が減少したこと等によるものであります。純資産は、80億6千6百万円となり自己資本比率は62.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、概ね計画通りに推移していることから、平成24年10月5日発表時より変更はいたしておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,599,807	1,813,034
受取手形及び売掛金	1,733,328	1,454,011
商品及び製品	1,287,150	1,311,074
仕掛品	74,920	75,649
原材料及び貯蔵品	589,574	691,544
繰延税金資産	120,204	124,001
その他	61,907	77,503
貸倒引当金	3,580	3,017
流動資産合計	5,463,313	5,543,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,937,065	2,794,003
機械装置及び運搬具(純額)	808,090	794,303
土地	2,925,180	2,925,180
リース資産(純額)	5,215	3,966
その他(純額)	148,182	118,421
有形固定資産合計	6,823,735	6,635,875
無形固定資産	87,775	73,436
投資その他の資産		
投資有価証券	409,868	392,950
その他	317,532	334,340
貸倒引当金	4,819	6,582
投資その他の資産合計	722,581	720,708
固定資産合計	7,634,092	7,430,020
資産合計	13,097,406	12,973,822

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,027,500	909,791
短期借入金	1,747,000	1,760,000
リース債務	1,748	1,748
未払法人税等	66,831	59,801
賞与引当金	115,520	154,371
役員賞与引当金	9,970	16,125
その他	452,096	395,351
流動負債合計	3,420,666	3,297,188
固定負債		
長期借入金	235,000	188,000
リース債務	3,728	2,416
繰延税金負債	127,126	129,846
退職給付引当金	897,822	900,378
役員退職慰労引当金	142,835	149,143
その他	231,375	240,843
固定負債合計	1,637,886	1,610,628
負債合計	5,058,553	4,907,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,870	1,411,870
利益剰余金	5,115,264	5,137,025
自己株式	251,853	251,974
株主資本合計	8,105,281	8,126,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,725	13,540
繰延ヘッジ損益	29,940	5,536
為替換算調整勘定	61,214	79,992
その他の包括利益累計額合計	66,428	60,915
純資産合計	8,038,853	8,066,005
負債純資産合計	13,097,406	12,973,822

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	6,622,262	6,643,722
売上原価	4,240,282	4,379,672
売上総利益	2,381,980	2,264,050
販売費及び一般管理費	1,995,440	2,008,115
営業利益	386,540	255,934
営業外収益		
受取利息	1,197	498
受取配当金	6,737	6,697
受取保険金	9,437	6,909
雑収入	18,893	11,371
営業外収益合計	36,265	25,476
営業外費用		
支払利息	15,971	15,423
為替差損	78,467	42,715
雑損失	33,678	10,079
営業外費用合計	128,118	68,219
経常利益	294,687	213,192
特別利益		
投資有価証券売却益	5,101	-
貸倒引当金戻入額	608	-
特別利益合計	5,709	-
特別損失		
固定資産廃棄損	61,335	6,970
特別損失合計	61,335	6,970
税金等調整前四半期純利益	239,062	206,221
法人税、住民税及び事業税	71,734	114,462
法人税等調整額	31,352	18,751
法人税等合計	103,086	95,710
少数株主損益調整前四半期純利益	135,975	110,510
四半期純利益	135,975	110,510



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	135,975	110,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,525	11,185
繰延ヘッジ損益	10,687	35,477
為替換算調整勘定	21,592	18,778
その他の包括利益合計	46,431	5,512
四半期包括利益	89,544	116,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,544	116,023
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,369,392	252,870	6,622,262	-	6,622,262
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	384	384	384	-
計	6,369,392	253,254	6,622,646	384	6,622,262
セグメント利益	347,453	39,086	386,540	-	386,540

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,381,481	262,240	6,643,722	-	6,643,722
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	510	510	510	-
計	6,381,481	262,751	6,644,233	510	6,643,722
セグメント利益	217,652	38,282	255,934	-	255,934

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。